

桜井  
浜江

## 桜井浜江 初期作品展

2023.9.26|火| - 10.22|日|

開館時間 | 午前10時30分 - 午後5時30分

休館日 | 月曜日 (10/9は開館)、10/10(火)、10/11(水) 観覧料 | 無料

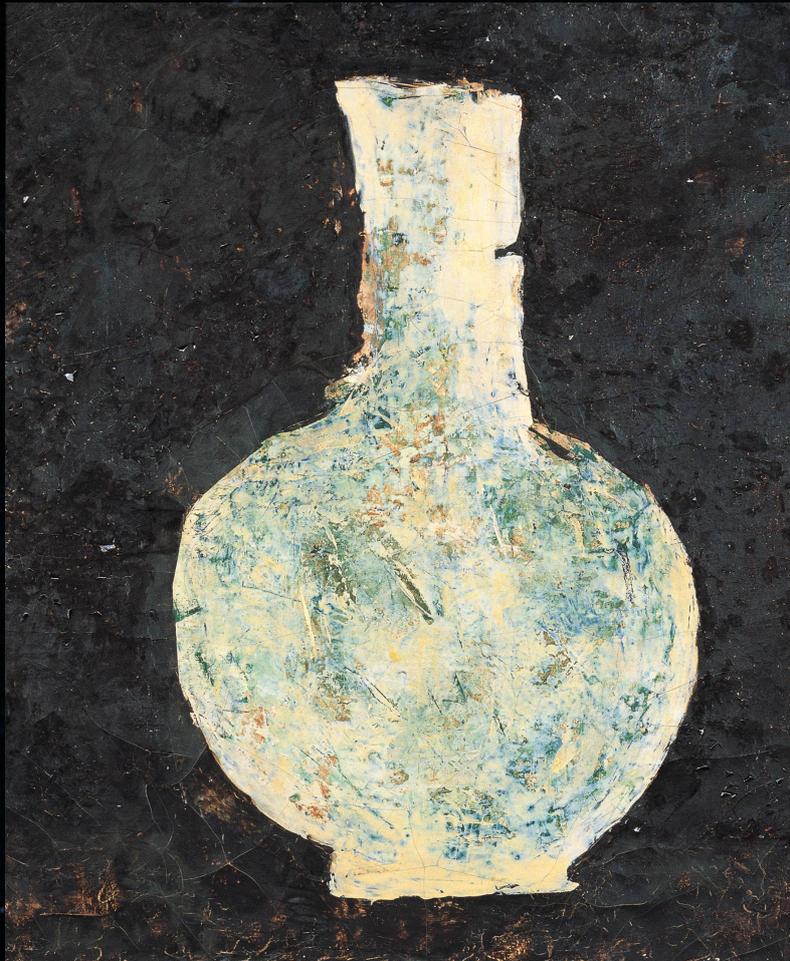
主催 | 公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

協力 | 公益財団法人山形美術館

お問合せ | TEL 0422-29-9868 (三鷹市公会堂)

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-42-3 JR三鷹駅南口より徒歩5分

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー





《顔》1945年 山形美術館

1926(大正15)年、18歳の桜井浜江は画家となるべく故郷山形を出走上京し、2007年2月12日、99歳を目前に三鷹中央病院にて息を引き取るまで、つまり18歳から80年余のその日まで、実に真正の「画家」であったと言えます。

人間の、壺の、花の、樹の、波の、そして風景の、事物の存在そのものの、その強靱さを、決して抽象に向かって離陸することなく、自らの内よりもりあがるものと、対象の底から湧き上る力をひとつに、終生カンヴァスに描き切ろうと、アトリエを離れ病室に横たわるそのときでさえも、そのことだけを思念し続けたのでした。

今回の展示は、中期以降の「樹」や「波」に収斂してゆく前の人物像を中心にしたものです。桜井の画業を知るにはこの展開を押さえることが重要です。三鷹市は現在19点の桜井作品を所蔵しておりますが、そのなかより1940年代と50年代の人物像を2点、山形美術館からは30年代から50年代までの6点を借用し展示致します。昨今の美術展では100点200点の陳列が一般のようですが、厳選されたわずか8点の作品にじっくりと対峙する一日があってもよいかもしれません。

何度でも足を運ばれてご覧いただければ幸いです。

貴重な作品を快く貸与され、ご協力くださいました山形美術館様に深く感謝の意を表します。



《象》1947年 山形美術館



《人物》1948年 三鷹市美術ギャラリー



《人物》1952年 三鷹市美術ギャラリー



《人物》1949年頃 山形美術館



《二人》1934年 山形美術館



《花》1956年 山形美術館

表面掲載作品：《壺》1947年頃 山形美術館

## 桜井浜江略歴

1908(明治41)年、山形市生まれ。県立山形高等女学校卒業後補習科修了し上京。川端画学校洋画部、岡田三郎助私塾、1930年協会洋画研究所などで学び、31(昭和6)年第1回独立展入選。

39年、三鷹市に転居。

47年、三岸節子らと女流画家協会創立。

48年、独立賞。

54年、独立美術協会会員。

95年、「桜井浜江展－画業65年の軌跡－」(青梅市立美術館)。

06年、「桜井浜江・田中田鶴子・桜井寛三人展」(三鷹市美術ギャラリー)。

07年、死去。

08年、「生誕100年記念 桜井浜江展」(山形美術館)。

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー  
Mitaka City Hamae Sakurai Memorial Gallery

〒181-0013  
東京都三鷹市下連雀 3-42-3 1階  
JR三鷹駅南口より徒歩5分(約350m)  
TEL 0422-29-9868 (三鷹市公会堂)  
<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/shg/>

